

県民の安全・安心と社会・経済を支える 社会資本の整備効果



三種川(三種町)



大館処理センター(大館市)



下内川(大館市)



秋田港(秋田市)



国道341号 橋梁補修(仙北市)



新波川(秋田市)



(都) 停車場栄町線(由利本荘市)



国道108号(由利本荘市)

【秋田県】社会資本の整備に係る効果事例 一覧

	事業名	箇所	テーマ
①	都市計画事業	(都) 停車場栄町線(由利本荘市)	道路拡幅や電線共同溝の整備による、災害に強い道路ネットワークの構築
②	下水道事業	秋田市(臨海処理区、八橋処理区) 県北地区(3市3町1組合)	人口減少社会を見据えた、県民生活と産業を支える下水道施設の集約化
③	港湾事業	秋田港、能代港、船川港	産業振興のゲートウェイ ～物流効率化や拠点化により、地方創生の実現を後押し～
④	道路事業	国道108号(由利本荘市)	幹線道路のバイパス整備による、災害に強い道路ネットワークの構築
⑤	道路事業(補修)	国道341号(仙北市)	秋田の「地方創生」を支える橋梁長寿命化の取組
⑥	河川事業	三種川(三種町)	河川改修事業による浸水リスクの低減と治水安全度の向上がもたらす地域の安全・安心
⑦	河川事業	下内川(大館市)	河川改修事業による浸水リスクの低減と治水安全度の向上がもたらす地域の安全・安心
⑧	河川事業	新波川(秋田市)	河川改修事業による浸水リスクの低減と治水安全度の向上がもたらす地域の安全・安心

(都) 停車場栄町線【裏尾崎町工区】(地方街路交付金事業)

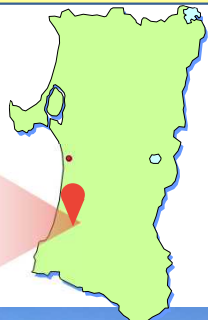
① 道路拡幅や電線共同溝の整備による、災害に強い道路ネットワークの構築

- 停車場栄町線は、羽後本荘駅から西側に延び、市街地中心部を東西に貫く幹線道路であり、沿線には公共施設、飲食店などの商業施設が多く立地している。第二次緊急輸送道路に指定されており、防災上も重要な路線である。
- 安全・安心な歩行空間の確保と災害に強い道路づくりを目指し、**道路拡幅、歩道の設置、電線共同溝の整備**を行った。

都市計画道路「停車場栄町線」裏尾崎町工区

(一般県道羽後本荘停車場線)

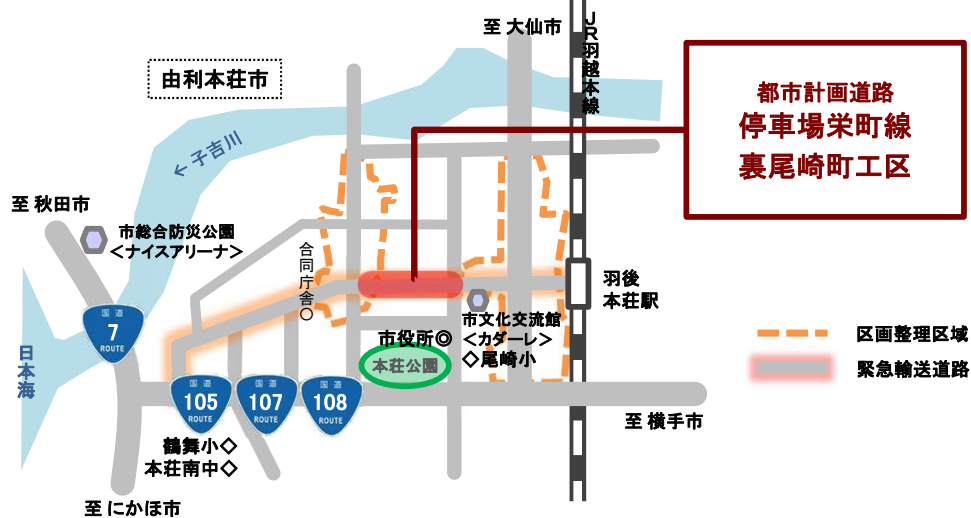
- ・事業期間：平成25年度～
- ・総事業費：約32億円
- ・延長：389m
- ・道路幅員：6.0(18.0)m 2車線



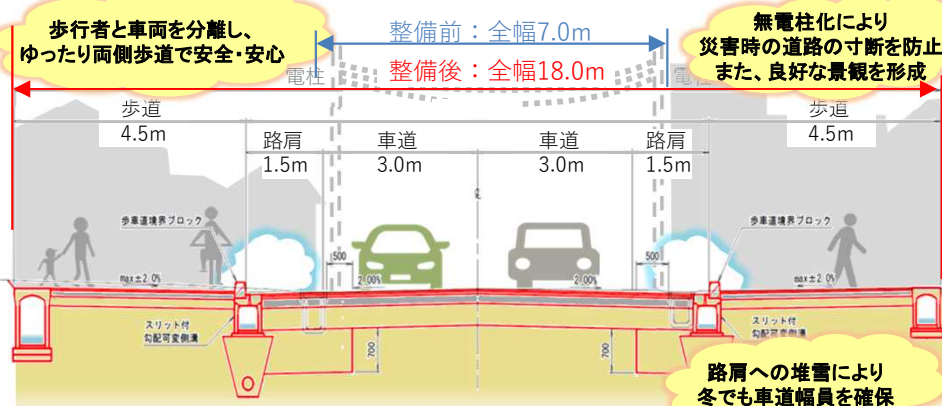
道路整備後の状況(令和6年4月撮影)



位置図



期待される効果



1車線道路で狭く、歩行者・自転車が危険



冬は更に狭くなり、バスとの交差困難



両側歩道の安全・安心な広い道路に！



電柱もなく、余裕を持って交差可能に！

② 人口減少社会を見据えた、県民生活と産業を支える下水道施設の集約化

■人口減少による使用料収入の減少、施設稼働率の低下、施設の老朽化の進行等により、運営費の負担が増大し事業経営の悪化が懸念、住民サービス維持が困難。

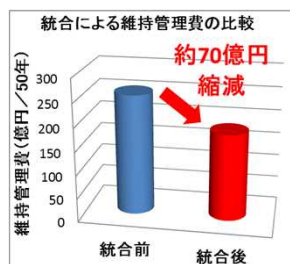
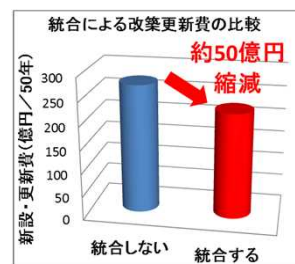
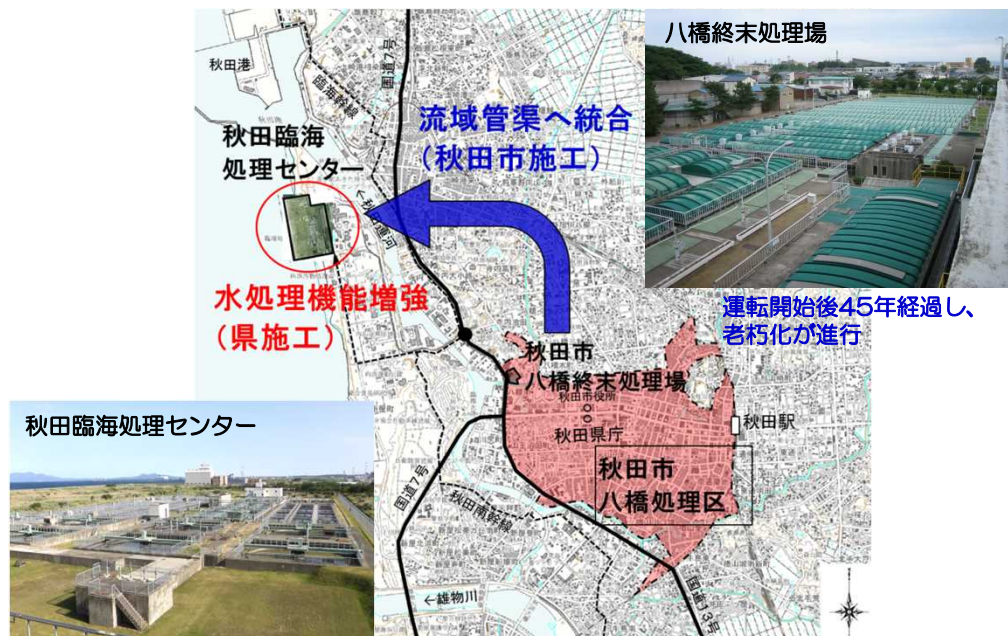


■ 県と市町村との協働による汚水処理、汚泥処理の集約化を図り、持続的な汚水処理サービスレベルの提供を維持し、事業コストを大幅に削減。



【市との協働による下水道処理機能の集約化】

◇県内最大規模の公共下水道（秋田市）を流域下水道（県）に統合
（平成26年度着手、令和2年統合）



・老朽化が著しい秋田市八橋終末処理場を改修せず汚水を流域下水道に統合
・秋田臨海処理センターの既存施設を有効活用
▶水処理施設の改造（処理能力増強）

【市町村等との協働による汚泥処理機能の集約化】

◇下水道、し尿処理場から発生する汚泥を集約処理する施設の整備
▶県北地区広域汚泥処理事業
（平成27年度着手、令和2年4月より運用開始）



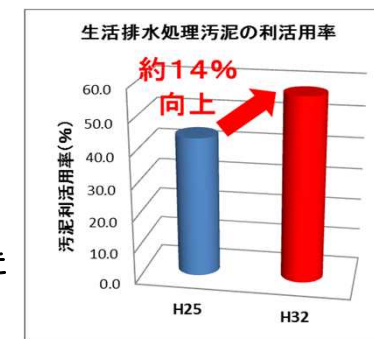
・県北3市3町の下水道終末処理場やし尿処理場から発生し、最終処分場で埋立処分している汚泥を**集約処理**
・集約した汚泥は「炭化方式」により**資源化し利活用**

★下水汚泥利活用率の向上

循環型社会への貢献



生成された炭化物



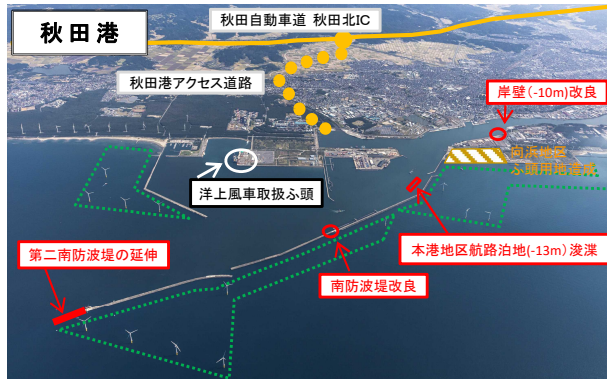
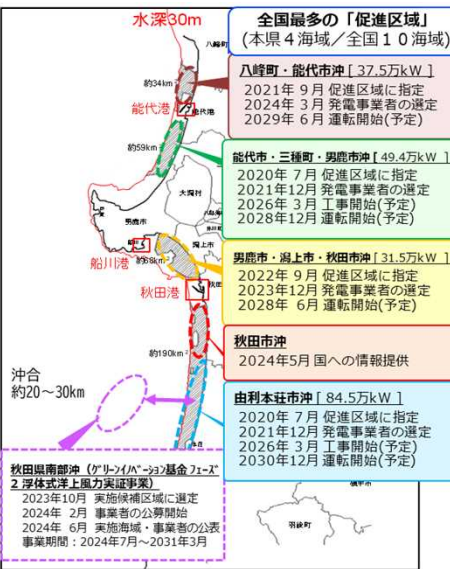
③ 産業振興のゲートウェイ 《秋田港、船川港、能代港》 ～物流効率化や拠点化により、地方創生の実現を後押し～



「再生可能エネルギー産業（洋上風力発電）」を支える「みなと」、クルーズを通じた交流人口の増加、地域活性化、観光振興。

洋上風力発電事業の大規模展開と県内港湾の整備

秋田県内における洋上風力発電の進捗状況



秋田港湾内洋上風力発電(令和5年1月31日運転開始) 4. 2MW×13基



能代港湾内洋上風力発電(令和4年12月22日運転開始) 4. 2MW×20基



クルーズを通じた地域活性化、観光振興

環日本海交流拠点となる秋田港の受入環境の整備促進



官民協働組織による 受入態勢の強化

あきたクルーズ振興協議会

- 平成29年3月21日設立
- 会長は知事
- 事務局は港湾空港課
- 48団体が加盟
- (令和6年2月28日現在)

幹事会

分野別ワーキンググループ

- ①クルーズ列車
- ②コンテンツ開発・営業
- ③外国人受入
- ④ファーストポート受入
- ⑤船内ゴミ受入 等

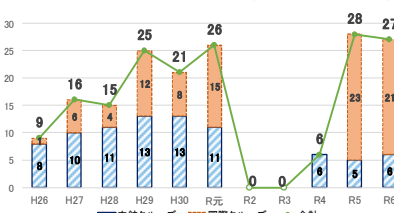
クルーズ振興の取組

- ・県内の関係セクションとの連携強化
- ・国内及び海外におけるトップセールスの実施
- ・海外船社幹部を本県に招へい
- ・ニーズが高まる本県ならではの体験型観光の売り込み 等



クルーズ船受入状況

秋田県へのクルーズ船寄港実績と寄港予定(令和6年8月26日時点)



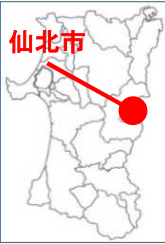
④ 幹線道路のバイパス整備による、災害に強い道路ネットワークの構築

- 一般国道108号は、宮城県石巻市から秋田県湯沢市を經由して由利本荘市に至る幹線道路であり、鳥海山などの観光資源へのアクセスのほか、地域の生活・観光振興に寄与する重要な路線であるとともに、第二次緊急輸送道路として、災害時の物資供給や緊急車両の通行を確保する路線として指定されている。
- 車道幅員が狭く大型車同士のすれ違いが困難であるほか、橋梁付近の直角カーブに起因する交通事故が発生するなど、緊急輸送道路としての機能や安全面に課題を抱えていた当工区において、バイパスの整備により、安全で円滑な交通を確保することで、災害に強い道路ネットワークの構築に寄与している。



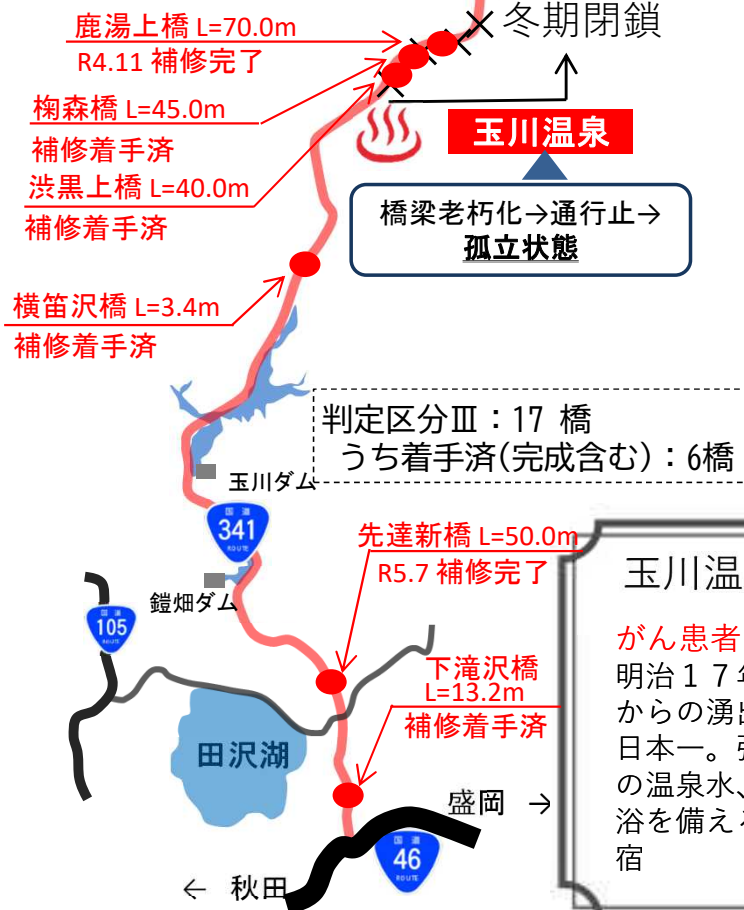
⑤ 秋田の「地方創生」を支える橋梁長寿命化の取組

- ◆「**国家戦略特区**」の認定を受けた仙北市が、**玉川温泉**を中核とした「湯治型医療ツーリズム推進」の提案書を提出(H26.8.27)
- ◆玉川温泉への**唯一のアクセス道路**である国道341号に密集する**39橋のうち35橋(約90%)**が**建設後30年を経過した老朽橋**
- ◆橋梁老朽化による通行止めが発生すると、玉川温泉は**孤立**。

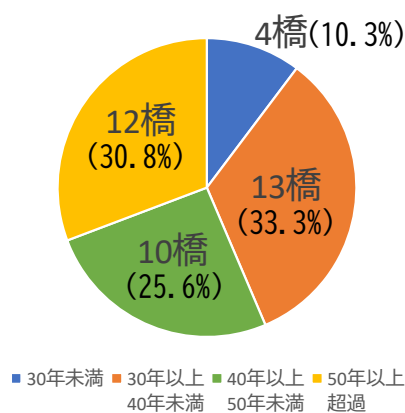


長寿命化計画に基づく予防保全型の補修により温泉への「命の道」を確保

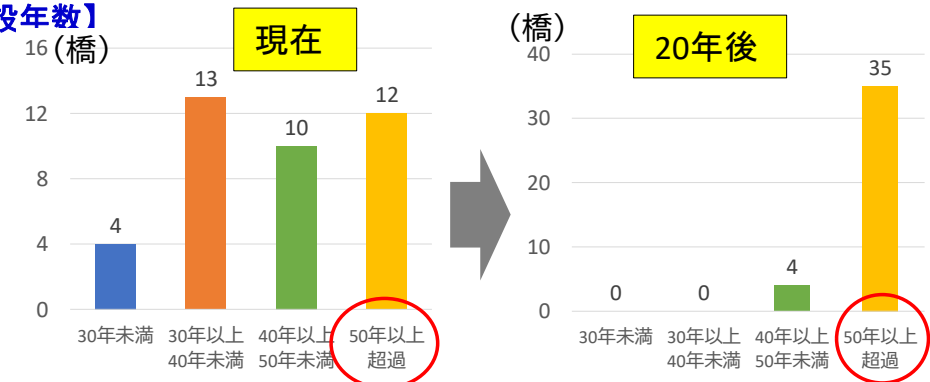
【長寿命化計画に基づく補修状況】



【国道341号の県管理橋梁の建設年数】



建設後30年を経過
35橋(約90%)



現在 建設後50年を経過した橋梁は12橋 (30.8%)
20年後には、ほぼ全ての橋梁 (35橋 (約90%))が50年を超過する

玉川温泉 年間利用約 15万人
(R4 秋田県観光統計)

がん患者が集う奇跡の湯治湯！
明治17年に開湯した本温泉は、1箇所からの湧出量が日本一。強酸性の温泉水、岩盤浴を備える湯治宿



【橋梁補修の事例】(渋黒上橋)



<<補修前>>



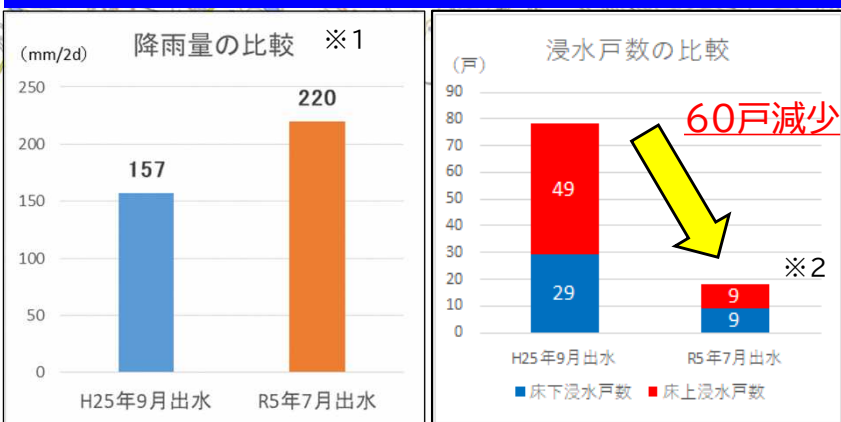
<<補修後>>

⑥ 河川改修事業による浸水リスクの低減と治水安全度の向上がもたらす地域の安全・安心

- 三種川(秋田県)では、**H25出水**において、外水氾濫により**床上49戸、床下29戸の家屋浸水被害**が発生
- 出水を踏まえ、**床上事業(R1完了)**や**5力年加速化事業**等を活用して、**緊急的かつ集中的に河道掘削等の治水対策を推進**
- R5. 7月出水(7月14日～16日)**では、H25出水を上回る規模の雨量を記録したが、**治水対策により、外水被害が大幅に減少**

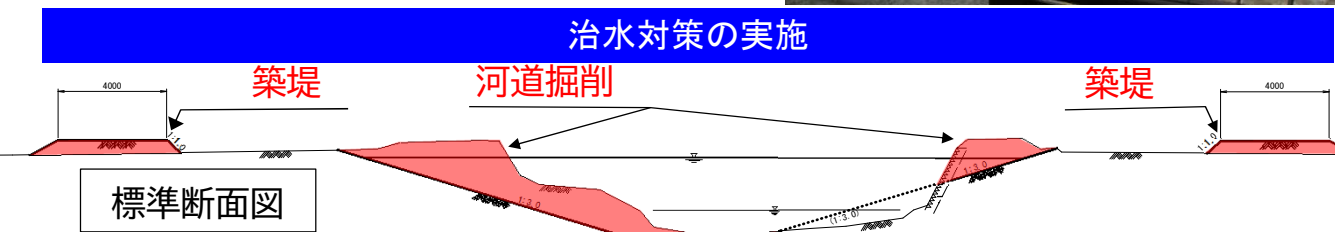


事業による効果



H25出水を上回る規模の降雨量を観測。
河川整備の進捗により浸水被害家屋は約62戸減少した

■ H25. 9浸水範囲 ■ R5. 7浸水範囲

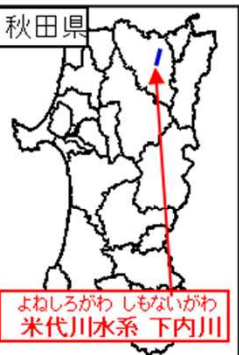


※1: 流域平均雨量
※2: 三種町聞き取りによる数値

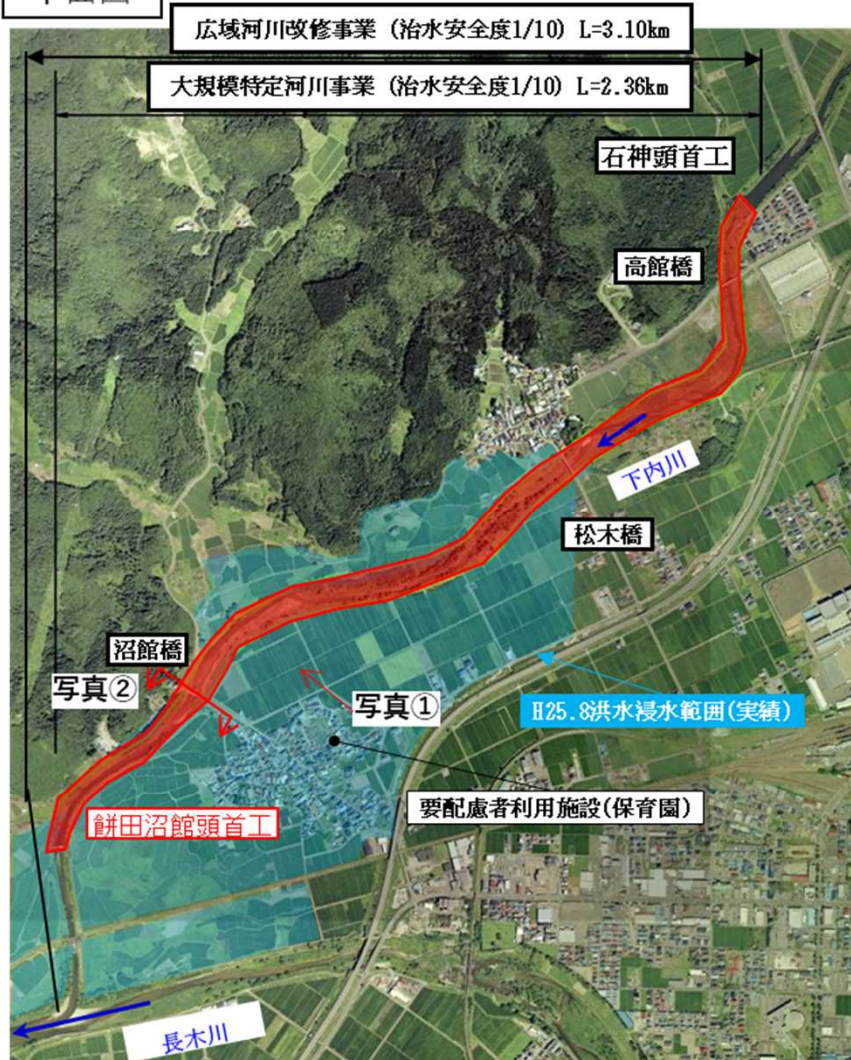
⑦ 河川改修による浸水リスクの低減と治水安全度の向上がもたらす地域の安全・安心

- 下内川(秋田県)では、**H25出水**において、外水氾濫により**床上51戸、床下33戸の家屋浸水被害**が発生
- 出水を踏まえ、H27年度から**広域河川改修事業**、R3年度から**大規模特定河川事業**に着手し、**5力年加速化対策**等を活用して、**緊急的かつ集中的に河道掘削や築堤等の治水対策を推進**
- R5. 7月出水(7月15日)**では、大館地域気象観測所(アメダス)でH25出水を上回る規模の雨量を記録したが、**治水対策による水位低下により、外水被害を回避**

位置図



平面図

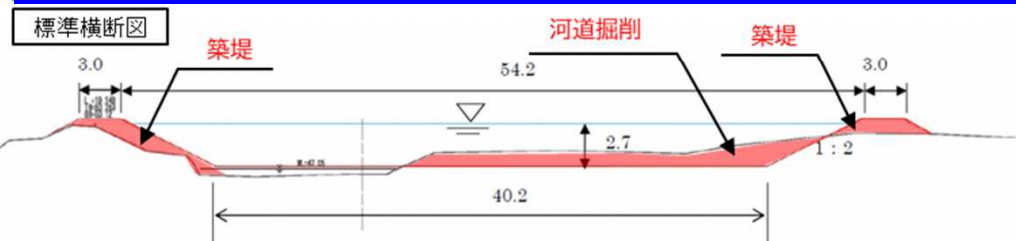


事業による効果



大館地域気象観測所(アメダス)でH25出水を上回る降雨量を観測
河川整備の進捗により浸水被害家屋は約84戸減少した

治水対策の実施



出水状況



⑧ 河川改修事業による浸水リスクの低減と治水安全度の向上がもたらす地域の安全・安心

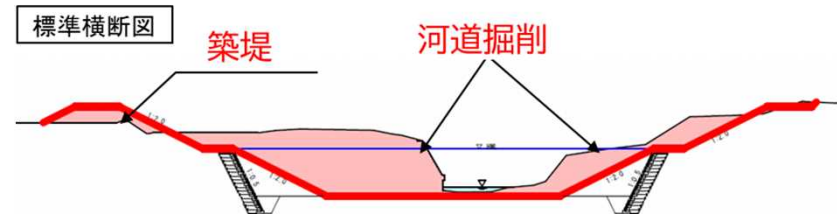
- 新波川(秋田県)では、**H22出水**において、外水氾濫により**床上29戸、床下42戸の家屋浸水被害**が発生
- 出水を踏まえ、**床上事業**や**5力年加速化事業**等を活用して、**緊急的かつ集中的に河道掘削や築堤等の治水対策**を推進
- R5. 7月出水(7月14日～16日)**では、H22出水を上回る規模の雨量を記録したが、**治水対策により、外水被害が大幅に減少**



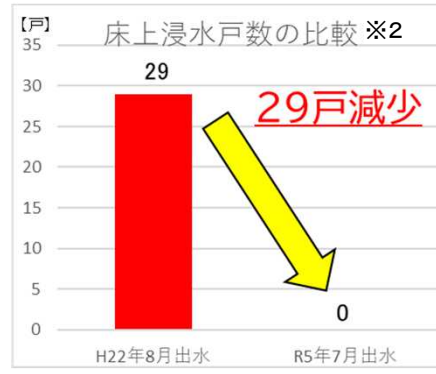
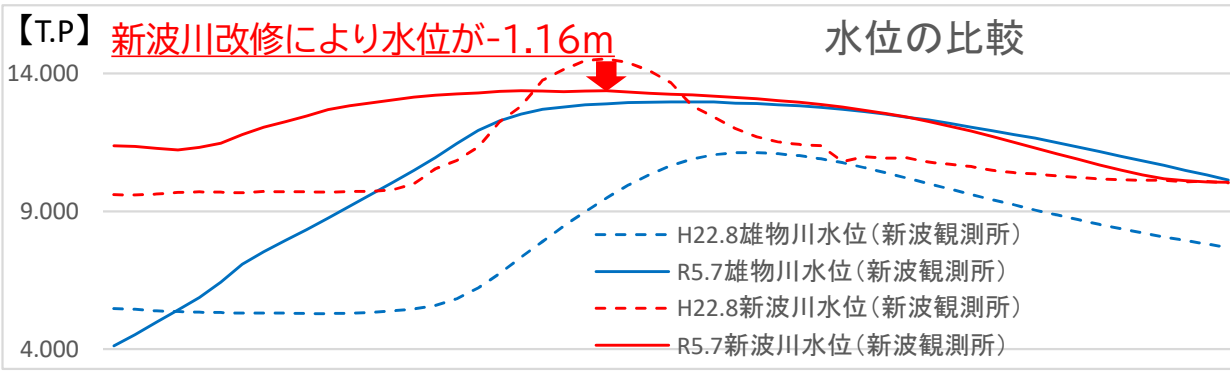
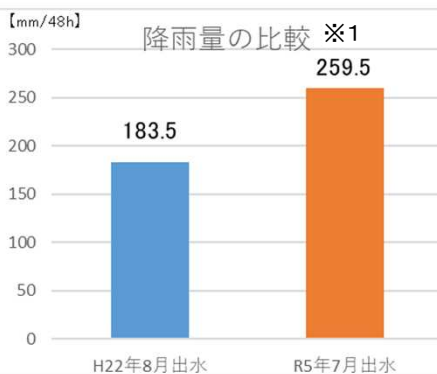
過去出水の氾濫状況



治水対策の実施



事業による効果



■ H22出水を上回る規模の降雨量を観測

■ 河川整備の進捗により水位低減効果が図られ、**床上浸水被害家屋は29戸減少**した

※1: 大正寺雨量観測所

※2: 国土交通省秋田河川国道事務所聞き取りによる数値